



DRIVE
RECORDER

TZ-D205W

品番：V9TZDR200

取扱説明書 本体編

この度は、弊社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。
なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。

本機は、日常の運転をドライブレコーダーで記録し分析することで、安全運転についての改善や、効果的な運転管理を推進し、交通事故の防止および安全運転を促進する目的で製造販売しております。

microSDカードについての取り扱い注意事項

microSDカードの挿入／取り出しの際は、本機からDCプラグを外し、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してから行ってください。

microSDカードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。
microSDカードによる不具合が発生した場合は、オプションのmicroSDカードと交換してください。

microSDカードを新たに購入される場合は、TZmicroSDカードもしくはセルスターオプションのドライブレコーダー専用microSDカードをおすすめします。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルや専用ビューアソフトが全て消去されます。
あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。
専用ビューアソフトのダウンロードについて (P52参照)

パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更(削除、追加、移動)しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

Copyright © 2020 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.

Cellstarは、セルスター工業株式会社の登録商標です。

microSD™はSDアソシエーションの登録商標です。

microSD Logolは登録商標です。

STARVISおよび  はソニー株式会社の登録商標です。

その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は付属のmicroSDカードに格納しています。ファイルを削除した場合、下記URLよりダウンロードしてください。

https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

はじめに

安全上の注意	4
microSDカードについての取り扱い注意事項	6
使用上の注意	7
録画についての注意事項	7
取り付けについての注意事項	7
microSDメンテナンスフリー機能について	7
パーキングモードについて	7
GPSについて	8
ディスプレイについて	8
タッチパネルについて	8
ナイトビジョン ver.2について	8
常時電源コード (GDO-10) について	8
アイドリングストップ車での使用について	9
GPSおしらせ機能について	9
専用ビューアソフトについて	9
カメラレンズの注意事項	9
事故発生時の注意事項	9
本体/付属品	10
付属品	10
オプション品	11
各部の名称と機能	12
本体	12
別体カメラ	13
常時電源本体 (GDO-10)	13

取り付けと準備

取り付け方法	14
本体と別体カメラの設置場所 (推奨)	14
フロントガラスに本機を設置する場合	15
フロントガラスへの取り付け位置 (正面)	15
フロントガラスへの取り付け位置 (側面)	15
フロントガラスへの取り付け	16
マウントベースから本体を取り外す	16
ダッシュボードへの取り付け	16
リアガラスに別体カメラを設置する場合	17
取り付け位置 (正面)	17
取り付け位置 (側面)	18
リアガラスへの取り付け	18
セダンなどのリアトレイに別体カメラを設置する場合	19
取り付け位置 (側面)	19
本体と別体カメラを接続	20
接続方法	20
別体カメラの設定	20
常時電源コードの取り付け	21
常時電源コードの設定	21
常時電源コードの取り付け	22
配線処理	23
microSDカードの挿入および取り出し	24
microSDカードの挿入	24
microSDカードの取り出し	25

基本操作

製品の使用方法	26
電源のON/OFF	26
エラーメッセージ	27
ディスプレイ	28
タッチパネルについて	29
録画方法	30
録画モードについて	30
クイック録画機能 (手動)	31
撮影モードについて	31
パーキングモードについて	32
パーキングモードの録画モード設定	33
パーキングモードのLED動作	34
パーキングモードの動作	34

各種設定

各種設定の変更	35
設定の変更方法 (例: アイコン表示)	35
設定一覧	36
設定一覧 (つづき)	37
画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧	38
3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧	38
画像モード設定	39
その他の機能	40
再生モード	40
GPSおしらせ機能	41
MyCellstarについて	42
パソコンでGPSデータをダウンロード	42
GPSデータ更新	45
GPSデータの版数確認	45
外部モニター表示	46
TZセーフティレーダーに接続	47
GPS測位について	48
フォーマット	49
システムリセットと強制初期化	50
システムリセット	50
強制初期化	50
キャリブレーション設定	51
ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて	52
専用ビューアソフトの動作環境	52

困ったときは

故障かな?と思ったら	53
------------	----

その他

製品の仕様	54
microSDカードのデータについて	57

アフターサービス

アフターサービスについて	58
修理に関して	58
修理受付票	59

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。 * 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

- ❗ この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。
- 🚫 この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。
- ⚠️ この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。

危険

- ❗ 本機は必ず定められた電圧（DC12V/24V）でご使用ください。
* 火災や感電、故障の原因となります。
- ❗ 運転中に本機を操作しないでください。
* 交通事故の原因となります。操作する場合は、必ず車を安全な場所に停止させ操作してください。
- 🚫 本機をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。
* 事故発生時にエアバッグが正常に作動しないおそれがあります。または作動したエアバッグにより負傷の原因となります。
- 🚫 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
* ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。
- 🚫 水につけたり、水をかけたり、またぬれた手では絶対に操作しないでください。
* 火災や感電、故障の原因となります。

警告

- ❗ 本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態でおこなってください。
* 車両のキーがONの状態で行うと、感電および故障の原因となります。
- 🚫 本機の結合部分、スピーカーなどの穴やすき間にはピンや針などの金属を入れないでください。
* 誤って差し込まれた場合は、すぐ使用を中止し取り除いてください。火災、感電、および故障の原因となります。
- 🚫 本機から煙が立つ、異臭がするなどの問題が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。
* 火災などの原因となります。
- 🚫 本機を急激に温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。
* 製品の変形および火災、爆発の原因となります。
- 🚫 コードを外すときは、必ずプラグ部分を持って外してください。また破損やキズが付いたコードは使わないでください。
* コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。
- 🚫 本機の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。またゴムとビニールなどを長期間接触させないでください。
* 表面の変質や塗料がはげることがあり、故障および火災の原因となります。
- ⚠️ 本機を長時間動作した場合、レンズ部分が発熱します。直接手で触れないでください。





















警告

- ❗ 本機および別体カメラは、ガラス面またはダッシュボード（リアトレイ）表面に正しく取り付けてください。
* ガラス面またはダッシュボード表面をきれいに拭いたあと、本機および別体カメラを正しく確実に取り付けてください。正しく取り付けしていない場合、本機および別体カメラがガラス面またはダッシュボード表面から外れ運転中に交通事故が発生する可能性があります。

注意

- ❗ 本機に強い衝撃を与えないでください。
* 衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
- ❗ 本機の近くに磁気性がある物を置かないでください。
* 製品の誤作動および故障の原因となります。
- ❗ 本機の近くには障害になるような物を設置しないでください。
* 周りに障害物があるとGPSの受信に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- ⚠️ GPS機能は初期作動時、起動するまでに時間がかかります。
* 受信環境、気象状況、および車両の位置などにより、数秒から数分かかる場合があります。
- ⚠️ フロントガラスにメタルコーティングされた車両はGPS受信障害が発生することがあります。
- ⚠️ トンネル入出時のように急激に明るさが変わる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合などの条件では録画品質が落ちることがあります。
- ⚠️ 暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドライトやフォグランプをつけてください。
- ⚠️ フロントガラスの表面や本機のカメラレンズの表面はいつもきれいにしておいてください。
* ほこりや異物による乱反射や屈折現象の発生で、きれいな映像を記録することができない可能性があります。
- ⚠️ 本機は、推奨取付位置に設置してください。
* 推奨位置でない場所に設置されると画面がよれることがあります。
* 車両に応じて、よい録画ができる位置（推奨取付位置）に装着してください。
- ⚠️ LED方式の信号機では画面がちらつく（フリッカー）ことがあります。
- 🚫 本機の分解、修理、または改造を絶対にしないでください。
* 故障の原因となり保証を受けることができません。
- 🚫 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- 🚫 気温の低いところから高いところへ本機を移した場合、本機内に結露が生じることがあります。
* 結露したまま使用すると故障や発熱の原因となります。使用しないでください。

microSDカードについての取り扱い注意事項

-  microSD カードの取り扱いには十分注意して、次の注意事項をよくお読みになりご使用ください。注意事項を守らずに発生するデータの損失および破損に関して弊社は一切の責任を負いません。
-  付属の microSD カードをフォーマットすると記録ファイルや専用ビューアソフトは、全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
-  microSD カードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
-  市販の microSD カードを使用した場合による、本機の動作異常に関して、弊社は一切の責任を負いません。
-  microSD カードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能でおこなってください。
-  microSD カードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSD カードによる不具合が発生した場合は、新しい指定の microSD カードと交換してください。
-  microSD カードを取り出す際は、必ず本体の電源が切れたことを確認してから取り外してください。
* 本体の電源が入っている状態でmicroSDカードを取り出すと、データ損失などの原因となります。
-  一般的に microSD カードには、寿命があります。（各メーカーにより異なります）
* microSDカードを長期間使用している、保証期間が切れているなどの原因でデータに異常が発生した場合、新しい指定の microSDカードと交換してください。
-  microSD カードを保管、または持ち歩くときは、必ずケースに入れてください。
* ケースに入れずに保管または持ち歩くと、静電気および外部環境の原因により内部のデータが損失されることがあります。
-  パソコンなどで microSD カード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。
-  microSD カードに本製品で記録されたデータ以外を格納しないでください。
* 正しく動作しない場合があります。
-  指定の microSD カード以外は使用しないでください。
* 指定以外の microSD カードを使用すると、正常に動作しない場合があります。
-  microSD カードスロットに異物を入れないでください。
* カードスロットの破損、または誤動作、故障の原因となります。
-  油がついた手や濡れた手で microSD カードスロットを触らないでください。
* microSDカードの損傷、または故障などの原因となります。
-  データのバックアップ、フォーマットおよび動作中には、絶対に microSD カードを取り出さないでください。
* microSDカードを損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
-  microSD カードの分解、または改造などは、絶対にしないでください。
* microSDカードが破損するおそれがあります。
-  microSD カードを落下させたり、衝撃を与えないでください。
* microSDカードの破損、およびデータが損失されるおそれがあります。
-  microSD カードには向きがあります。挿入するときは向きを確認して、確実に最後まで差し込んでください。
* microSDカードが正しく挿入されていないと誤動作の原因となります。
-  市販の microSD カードによっては認識しにくいものや、挿入、取り出しにくいものがあります。
-  microSD カードを別に購入する場合は、必ず使用可能か確認したうえでご購入ください。
* 8GB ~ 32GB（クラス10/SDHC 規格準拠、NANDタイプは「MLC」を推奨）
* 64GB（クラス10/SDXC 規格準拠、UHSスピードクラス：UHS-1以上、NANDタイプは「MLC」を推奨）
* 必ず本体にてフォーマットをおこなってください。

使用上の注意

録画についての注意事項

- 本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- 本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- LED方式の信号機では記録映像が点滅やチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。
- 走行中に本機を操作したり、LEDランプ、ディスプレイを注視しないでください。クイック録画／撮影機能をおこなう場合、周囲の安全を確認したうえで操作してください。
- 夜間の録画した映像にノイズが入っているように見えたり、夜間の映像が白っぽく録画されることがありますが、正常動作です。
- 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。
- 電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

取り付けについての注意事項

- 本機は、本書（P14参照）にしたがって、正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また交通事故やケガの原因となります。
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- 本機は防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。
- 本機および別体カメラを取り付ける前に、必ずガラス面またはダッシュボード（リアトレイ）とマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れなどをしっかり拭き取り、本機および別体カメラを確実に取り付けてください。

microSDメンテナンスフリー機能について

- 設定した録画画質によって microSDカードにセルスター独自のファイルシステムが適応されます。このファイルシステムでは、microSDカードに記録する際に発生してしまうファイルの断片化を無くし、録画データのエラー発生率を低減することができ、これにより定期的なフォーマットが不要となります。
- 画像モード設定の変更やmicroSDカードの状態によっては、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルや専用ビューアソフトが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- 付属のmicroSDカードは、工場出荷時の画像モード設定でファイルシステムが適応されています。
- 新規購入したmicroSDカードは使用前に必ずフォーマットが必要となります。
- パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

パーキングモードについて

- パーキングモードは、必ず付属の常時電源コードを使用してください。
- パーキングモードによる車のバッテリー上がりに関して弊社は一切の責任を負いません。
- 暗い場所など録画できない場合があります。
- ハイブリッド（HV）車は、常時電源の電圧監視を12Vに設定することをおすすめします。

GPSについて

- GPSの受信環境により、動作に時間がかかる場合があります。
- 前回のGPS受信から72時間を経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。最後に電源をOFFにしてから直線距離で300km以上離れた地点で電源をONにした場合、最後に電源をOFFにして次に電源をONしたときにGPS衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。
- 自車位置は、GPSの受信で測位されます。GPSが受信できない場所では、完全な自車位置の測位をおこなうことができません。
- 録画データに記録される日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。
- 取り付けになる車両のウィンドウが熱反射ガラスの場合、電波の透過率が低い場合GPSが受信しにくい場合や、できない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。

ディスプレイについて

- 同じ映像を長時間や繰り返し表示（短時間でも）した場合、液晶ディスプレイの性質により画面の焼付けが起こる可能性があります。これは保証の対象になりません。ディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼付けの発生を軽減できます。
- 液晶ディスプレイの性質により、輝点や減点が発生したりスジ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは保証の対象になりません。
- ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。車両に設置する際にはご注意ください。
- 偏光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。

タッチパネルについて

- 走行中は、必ず同乗者が操作をおこなうか、車両を停車してから操作をおこなってください。
- タッチパネルを強く押ししたり、先の尖ったもので押さないでください。タッチパネルが割れて、ケガや故障の原因となります。
- タッチパネルの反応にズレが発生した場合、キャリブレーション設定（P51参照）にてタッチパネルを補正してください。
- 本製品のタッチパネルは感圧式のため、タップした際に、画面が沈んだような状態になりますが、正常動作です。

ナイトビジョン ver.2について

- 走行状況によっては、白とびが発生する場合があります。ナイトビジョンまたはHDRナイトビジョン1～3で調整してください。（P36参照）

常時電源コード（GDO-10）について

- 本製品は防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。
- 本製品はセルスター製パーキングモード対応ドライブレコーダー（3極DC入力）専用 常時電源コードです。それ以外の製品に使用することはできません。
- パーキングモードによる車のバッテリー上がりに関して弊社は一切の責任を負いません。また保障なども一切ありません。
- パーキングモード中、暗い場所など環境によっては録画できない場合もあります。
- パーキングモードの使用方法について（P32参照）
- パーキングモードを使用しないときは、電源供給する時間を「0時間」に設定してください。

アイドリングストップ車での使用について

- 一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

GPSおしらせ機能について

- 各種GPSデータは、弊社独自調査によるデータと、公表されているデータを参考に集計、作成しています。
- 事故多発エリアは警視庁、国土交通省の統計データより集計していますが、集計の時期またその後の道路の改良などにより実際の状況と異なる場合があります。また首都圏や都市部などでは事故多発エリアが集中し警告が頻繁におこなわれる場合があります。
- GPSの測位状態によっては動作しない場合があります。
- GPSおしらせ機能を使用する場合、GPSおしらせ機能をオンにしてください。
- 本サービスは予告なく終了させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

専用ビューアソフトについて

- 専用ビューアソフトは、付属のmicroSDカードに格納しています。microSDカードをフォーマットするとプログラムが消去されてしまいます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。また、専用ビューアソフトはセルスター工業のWEBサイトからもダウンロードできます。（https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php）

カメラレンズの注意事項

- 本機の動作中、カメラのレンズ部分が発熱することがありますが異常動作ではありません。レンズ部分は大変熱くなつてますので直接手で触れないようご注意ください。

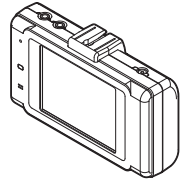

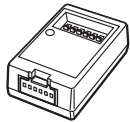
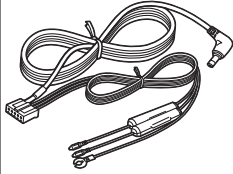



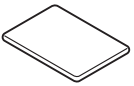
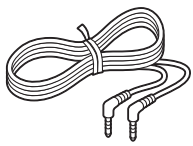
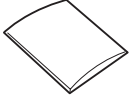


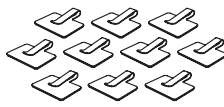




事故発生時の注意事項

- イベント録画が保存されない場合があるため、事故発生時は本機からmicroSDカードを取り出し、付属のmicroSDカードケースに保管してください。（P25参照）
- パソコンでmicroSDカードを読み込んだ際、SDカードのエラーメッセージが表示する場合がありますがCHKDSK（チェックディスク）プログラムなどで修復処理をおこなわないでください。記録映像が完全に消えてしまう可能性があります。
- microSDカードはwindowsパソコンにインストールした専用ビューアで再生してください。スマートフォンなどでmicroSDカードを読み込むと、不要なファイルが書き込まれ、データが消えてしまうおそれがあります。

付属品

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。

* その他注意書きが同梱している場合がございます。

<input type="checkbox"/> ドライブレコーダー本体 	<input type="checkbox"/> 別体カメラ 	<input type="checkbox"/> 常時電源本体 (GDO-10) 	<input type="checkbox"/> 常時電源コード (3極 DC プラグ) * 1Aヒューズ×2本内蔵  コード長: DC OUT 5.0m DC IN 1.0m
<input type="checkbox"/> 両面テープ (GDO-10 取付用) 	<input type="checkbox"/> マウントベース (大) * あらかじめ両面テープ (ガラス用) が貼られています。 	<input type="checkbox"/> マウントベース (中) * あらかじめ両面テープ (ガラス用) が貼られています。 	<input type="checkbox"/> 両面テープ (ダッシュボード用) × 2 
<input type="checkbox"/> カメラ接続コード  コード長: 9.0m	<input type="checkbox"/> 脱脂クリーナー 	<input type="checkbox"/> ボールジョイント (ダッシュボード用) × 2 	<input type="checkbox"/> microSD カード (専用ビューアソフト入り) * SDカード変換アダプタ、SDカードケース付属 * ドライブレコーダー本体に挿入されています。 
<input type="checkbox"/> コードクリップ × 10 	<input type="checkbox"/> コードレール 	<input type="checkbox"/> 取扱説明書 (本書) 	<input type="checkbox"/> 撮影中ステッカー  <input type="checkbox"/> TZ ステッカー 

オプション品

別途お買い求めください。

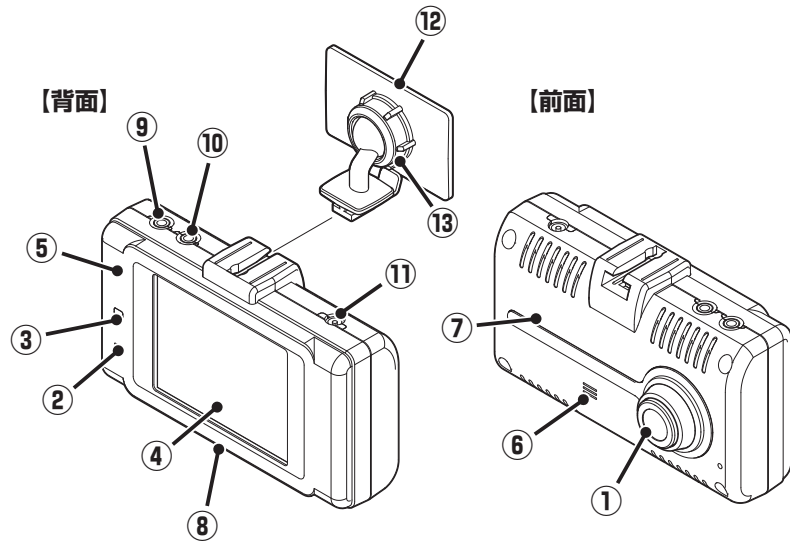
品名	使用目的 / 仕様	品番
ドライブレコーダー専用 microSD カード 	microSD カードを新たに購入される場合は、TZ microSD カードもしくはセルスターオプションのドライブレコーダー専用 microSD カードをおすすめします。	8GB: V9TZDRX09 16GB: V9TZDRX10 32GB: V9TZDRX11 64GB: GDO-SD64G1
ビデオ出力コード 	録画中の映像を外部モニターに出力する場合に使用します。(P46 参照)	GDO-02 コード長: 1.0m GDO-08 コード長: 3.5m
直結配線用 DC コード (3極 DC プラグ) 	車両のヒューズボックス、ACC 線から直接電源を取る場合に使用します。	GDO-15 コード長: 5.0m
TZ セーフティレダー接続コード (12V 専用) (3極 DC プラグ) 	カメラ警告対応の TZ セーフティレダーに接続し、これ 1 本で映像出力や電源入力ができます。(P47 参照)	GDO-11 コード長: 3.6m GDO-12 コード長: 0.8m GDO-25 コード長: 9.0m



本機に適合したオプション品の型番は、弊社ホームページの接続対応表をご覧ください。

https://www.cellstar.co.jp/products/pdfs/radar_drive/taiou.pdf

本体



① 撮影用カメラレンズ

* 出荷時に保護フィルムが貼られています。剥がして使用してください。

② マイク

映像記録中の音声を録音します。

③ LEDランプ

本機の動作状態を表示します。

④ タッチパネルディスプレイ

カメラの録画映像、再生、設定メニューの変更画面などを表示し、タップして操作します。

* 本機を反転し、電源を入れるとディスプレイも反転します。

⑤ リセットボタン

本機を再起動します。

⑥ スピーカー

各種警告を音声出力します。(モノラル)

⑦ GPS

GPS、みちびき、グロナス、ガリレオ、SBASなどの衛星を受信します。

⑧ microSDカードスロット

付属またはオプションの microSD カードを挿入します。
* microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。

⑨ カメラ接続端子

カメラ接続コードで別体カメラを接続します。

⑩ V-OUT (ビデオ出力端子)

オプションのビデオ出力コード、または弊社製 TZ セーフテイルレーター接続コードを接続します

⑪ DC12V/24Vソケット

常時電源コード (3 極 DC プラグ) を接続し、DC12V/24V を本機に入力します。

⑫ マウントベース (大)

あらかじめ貼られている両面テープでフロントガラスに取り付けます。

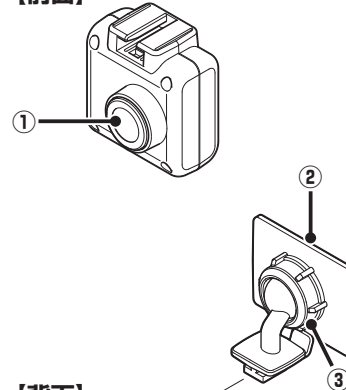
* ダッシュボードに取り付ける場合、ボールジョイントを付属のボールジョイント (ダッシュボード用) に交換し、両面テープ (ダッシュボード用) に貼り替えてから取り付けてください。

⑬ 角度調整ノブ

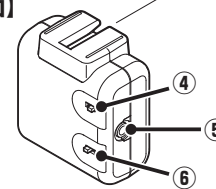
本機の取り付け角度を調整します。

別体カメラ

【前面】



【背面】



① 撮影用カメラレンズ

* 出荷時に保護フィルムが貼られています。剥がして使用してください。

② マウントベース (中)

あらかじめ貼られている両面テープでリアガラスに取り付けます。
* ダッシュボード (リアトレイ) に取り付けの場合、ボールジョイントを付属のボールジョイント (ダッシュボード用) に交換し、両面テープ (ダッシュボード用) に貼り替えてから取り付けてください。

③ 角度調整ノブ

別体カメラの取り付け角度を調整します。

④ 上下切り替えスイッチ

カメラ映像の上下反転時に使用します。

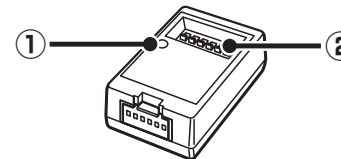
⑤ カメラ接続端子

カメラ接続コードで本体に接続します。

⑥ 正像鏡像切り替えスイッチ

カメラ映像の左右反転時に使用します。

常時電源本体 (GDO-10)



① LEDランプ

動作すると点灯し、内部電源異常、電圧設定異常などが発生した場合、点滅してお知らせします。

② ティップスイッチ

パーキングモードの時間設定時に使用します。

⚠ 注意

本機を車両に取り付ける前に、次の内容を確認のうえ取り付けてください。

- 本機の誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。正しく取り付けてください。
- 本機を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
- 本機を取り付ける前には、必ず車のエンジンを止め、キーを抜いた状態で取り付けてください。
- 本機に常時電源コード（3極DCプラグ）以外のコードを使用しないでください。
- 本機および別体カメラを設置した部分のガラスは、いつもきれいに保ってください。
- 夜間走行時にはカーナビゲーションおよび、車両用モニターがフロントガラスに映り込み、記録画像に影響を与えます。映り込み画像が撮影領域に入らないように角度を調整してください。
- 本機は上空からのGPS信号を受信して自車位置を記録します。そのため本体の上や前（車の進行方向）などに金属などの障害となるものがないよう取り付けてください。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やコードがぬれないようご注意ください。

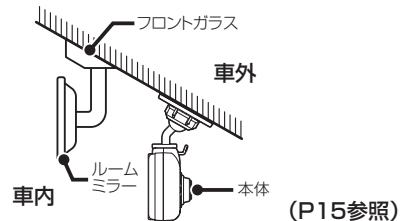
⚠ 警告

事故発生時の衝撃により本機および別体カメラが外れる場合がございます。ガラス面またはダッシュボード（リアトレイ）表面のmountベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れを付属の脱脂クリーナーでしっかり拭き取り、本機および別体カメラを確実に取り付けてください。

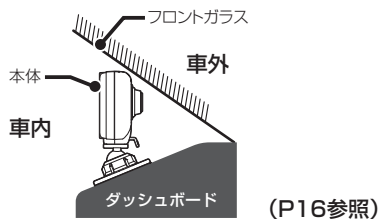
画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルや専用ビューアソフトが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。専用ビューアソフトのダウンロードについて（P52参照）

本体と別体カメラの設置場所（推奨）

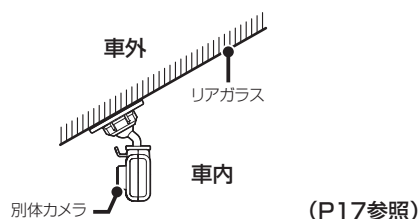
■ 本体をフロントガラスに設置する場合



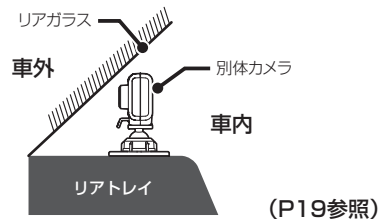
■ 本体をダッシュボードに設置する場合



■ 別体カメラをリアガラスに設置する場合

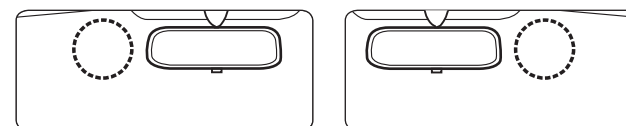
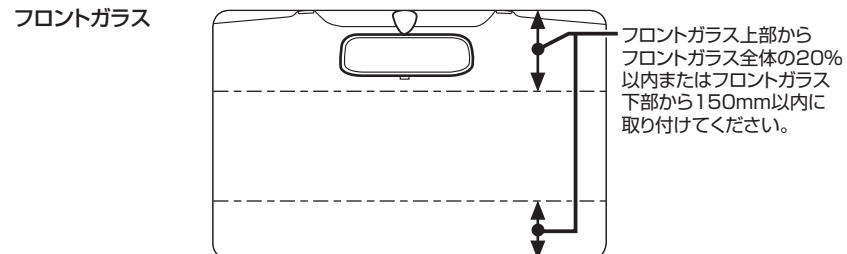


■ 別体カメラをリアトレイに設置する場合



フロントガラスに本機を設置する場合

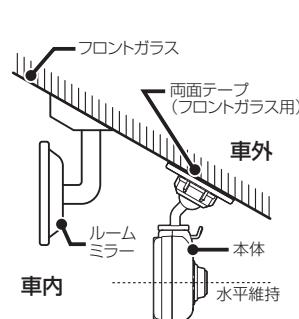
フロントガラスへの取り付け位置（正面）



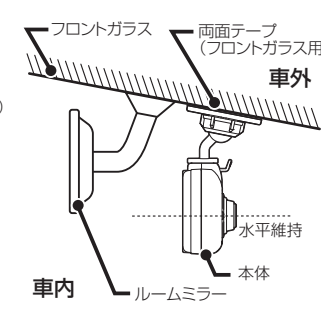
フロントガラスの中央部に設置できない場合は、広い視野角を活用してルームミラーの左、もしくは右側に設置することもできます。中央部に設置できない場合、録画映像が片方にかたよる可能性があります。

フロントガラスへの取り付け位置（側面）

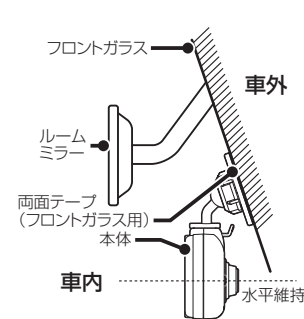
■ 一般的な乗用車



■ フロントガラスが寝ている車



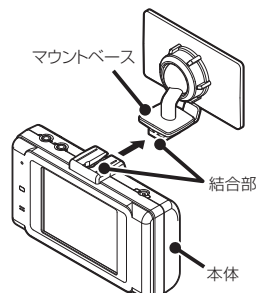
■ ワンボックスやトラックなど



- 図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。
- 本機が取り付けられた状態で、図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。
- 本機は常時電源コードが接続され、電源が入った時点で画面の向きを決定します。常時電源コードは本体の取り付けが完了してから接続してください。

フロントガラスへの取り付け

- 1 マウントベースと本体の結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。

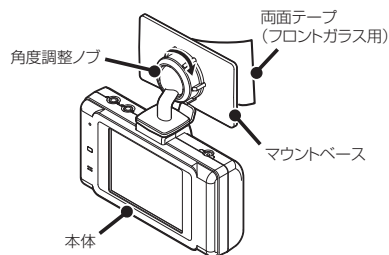


- 2 両面テープ (フロントガラス用) を使用して本機を設置する場所に取り付ける。

* 推奨フロントガラス設置位置を参照して、取り付けてください。

- 3 角度調整ノブを右側に回して本体を固定する。

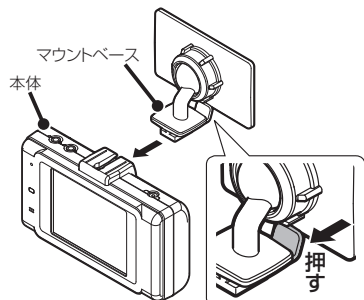
角度調整ノブを緩めると本体の取り付け角度を調整できます。



- * あらかじめ両面テープは貼られています。
- * 必要に応じて、先にマウントベースを車両側に取り付けてから本体を設置してください。

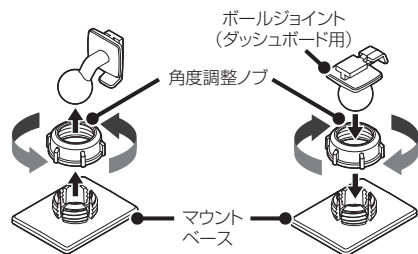
マウントベースから本体を取り外す

マウントベースのツメ部を押し、本体を矢印の方向に引き外します。



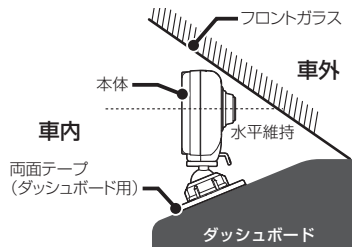
ダッシュボードへの取り付け

マウントベースから角度調整ノブを外し、ボールジョイント (ダッシュボード用) に付け替え、両面テープ (ダッシュボード用) に貼り替えます。



* 先にボールジョイントを角度調整ノブに差し込み、マウントベースに取り付けてください。

図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。



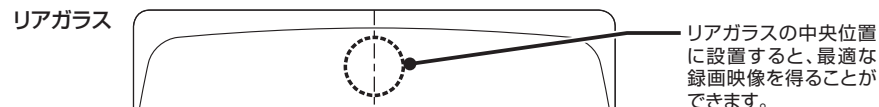
- * 電源を入れると自動で画面が反転します。
- * GPS信号を受信できる場所に取り付けてください。

リアガラスに別体カメラを設置する場合

* セダンなどのリアトレイに設置することもできます。(P19参照)

取り付け位置 (正面)

図のように後方を遮ることがないように取り付けてください。



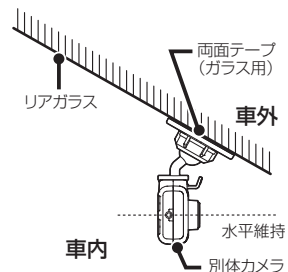
注意 リアガラスに別体カメラを取り付ける前に下記内容を必ず確認してください。

- リアのサンシェードなど取り付けに問題がないことを確認してください。
- 両面テープの貼り付け面がリアガラスの熱線と重ならないように取り付けてください。
- リアガラスにプライバシーガラスやフィルムが貼られている車両は、夜間や暗い場所では録画した映像が見づらくなる場合があります。
- ラジオアンテナやGPS、地デジアンテナ付近にカメラ接続コードを配線すると、これらの受信感度が下がる場合があります。
- リアワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- リアワイパー非装着車およびワイパー拭き取り範囲外に取り付けると、リアガラスの汚れや雨などにより録画記録映像が見づらくなる場合があります。
- エアバックの動作や運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見づらくなる場合があります。
- 取り付けにより車両に問題が発生した場合、弊社は一切の責任を負いません。

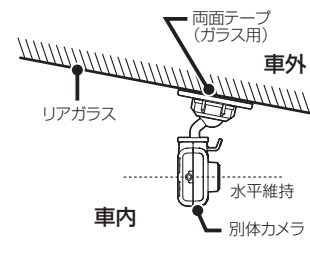
取り付け位置 (側面)

- ・図のように後方を遮ることがないように取り付けてください。
- ・別体カメラが取り付けられた状態で、図のように別体カメラが水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。
- ・取り付け場所によっては、リアガラスの熱線やプライバシーガラスが映像の邪魔となる場合があります。

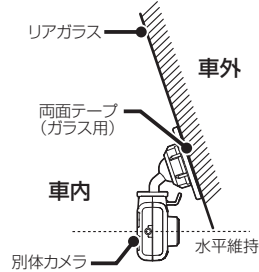
■ 一般的な乗用車



■ リアガラスが寝ている車

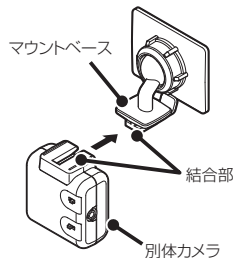


■ ワンボックスやトラックなど



リアガラスへの取り付け

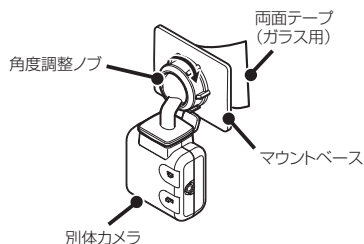
1 マウントベースと別体カメラの結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。



2 両面テープ (ガラス用) を使用して別体カメラを設置する場所に取り付ける。

* 推奨の設置位置を参照して、熱線避けて取り付けてください。

3 角度調整ノブを右側に回して別体カメラを固定する。
角度調整ノブを緩めると別体カメラの取り付け角度を調整できます。

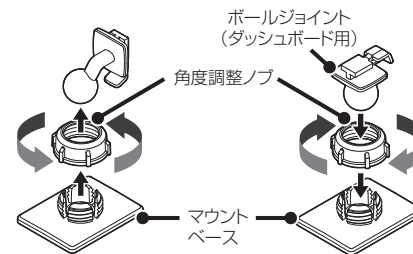


* 必要に応じて、先にマウントベースを車両側に取り付けてから別体カメラを設置してください。

* 別体カメラの正像鏡像切り替えスイッチをM (鏡像) に変更してください。(P20参照)

セダンなどのリアトレイに別体カメラを設置する場合

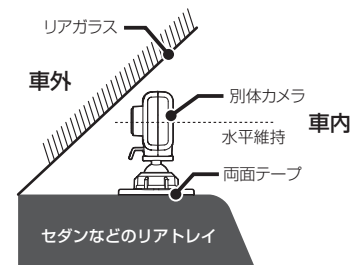
マウントベースから角度調整ノブを外し、ボールジョイント (ダッシュボード用) に付け替えます。



* 先にボールジョイントを角度調整ノブに差し込み、マウントベースに取り付けてください。

取り付け位置 (側面)

図のように後方を遮ることがないように取り付けてください。



* 別体カメラの上下切り替えスイッチを↓、正像鏡像切り替えスイッチをM (鏡像) に変更してください。(P20参照)

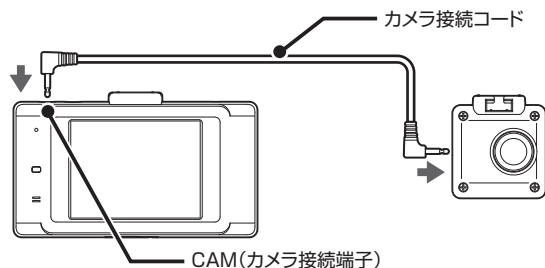
注意 リアトレイに別体カメラを取り付ける前に下記内容を必ず確認してください。

- ・リアのサンシェードなど取り付けに問題がないことを確認してください。
- ・リアガラスにプライバシーガラスやフィルムを貼られてる車両は、夜間や暗い場所では録画した映像が見づらくなる場合があります。
- ・ラジオアンテナやGPS、地デジアンテナ付近にカメラ接続コードを配線すると、これらの受信感度が下がる場合があります。
- ・リアワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- ・リアワイパー非装着車およびワイパー拭き取り範囲外に取り付けると、リアガラスの汚れや雨などにより録画記録映像が見づらくなる場合があります。
- ・エアバックの動作や運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見づらくなる場合があります。
- ・取り付けにより車両に問題が発生した場合、弊社は一切の責任を負いません。

本体と別体カメラを接続

接続方法

付属のカメラ接続コードで本体と別体カメラを接続します。



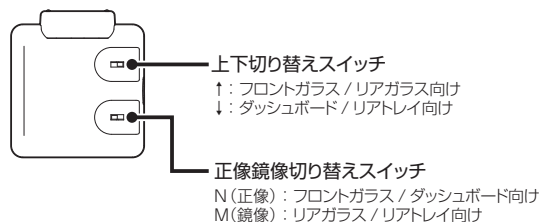
注意

・カメラ接続コードのプラグを奥までしっかりと差し込んでください。

別体カメラの設定

別体カメラの設置場所に合わせて別体カメラの設定を変更します。

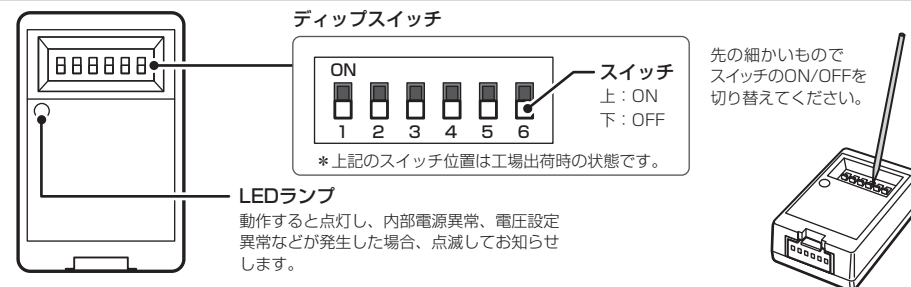
■ 推奨設定



常時電源コードの取り付け

常時電源コードを取り付ける前に、常時電源本体のディップスイッチで設定をおこないます。

常時電源コードの設定



■ パーキングモードの時間設定

【スイッチ1~3】 タイマー機能によって電源供給する時間を設定します。設定時間を超えると電源供給がオフになります。
 ※パーキングモードを使用しないときは、電源供給する時間を「0時間」に設定してください。



■ 12V車の電圧設定

【スイッチ4】 12V車の電圧を設定します。



【スイッチ5、6】 電圧監視機能によって監視する電圧を設定します。設定した電圧を下回ると電源供給がオフになります。



■ 24V車の電圧設定

【スイッチ4】 24V車の電圧を設定します。



【スイッチ5、6】 電圧監視機能によって監視する電圧を設定します。設定した電圧を下回ると電源供給がオフになります。



常時電源コードの取り付け

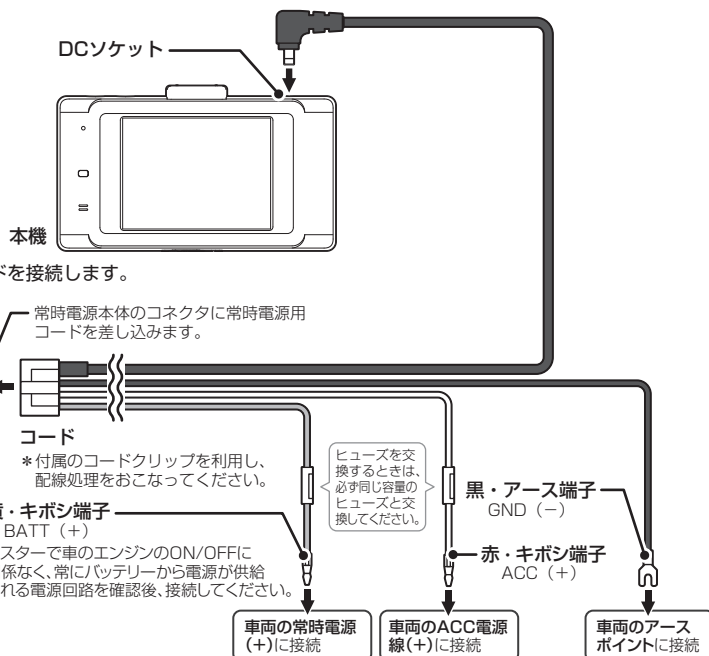
- 取り付けには専門的な知識を必要とします。お買い求めになったお店での取り付けをお勧めします。

⚠️ 取り付けの注意点

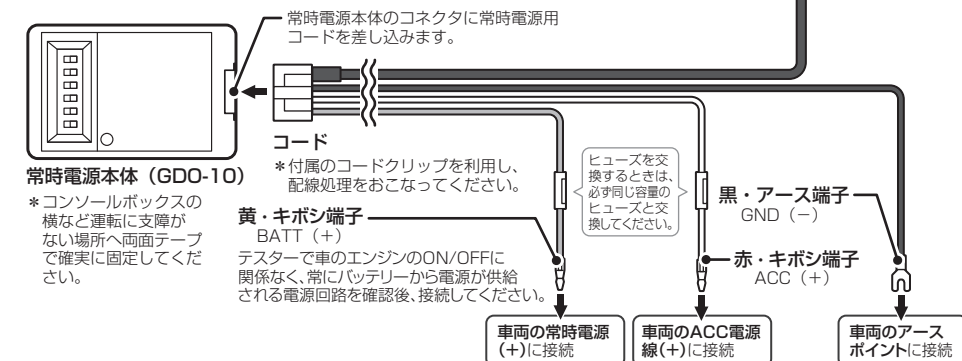
- 常時電源コードのディップスイッチで設定をおこなってから取り付けてください。(P21参照)
- 取り付け、配線は視界の妨げ、運転の妨げ、または車両の機能 (ハンドル、ブレーキなど) の妨げにならないように注意し確実におこなってください。
- 誤った取り付け、取り扱いによる車両や車載機器などの事故や故障、損害などが発生しても弊社は一切の責任を負いません。
- 必ず、以下の手順のとおり接続してください。火災や故障の原因となります。
- 常時およびACCの電源を取る際は、必ずテスターで確認してください。また、アースは車両のアースポイントで必ずお取りください。

* 常時電源コードを正しく設定 (P21 参照) の上、ACCがOFFの時に接続してください。

* 本機が常時電源コードを認識できない場合やパーキングモード中、DCコードを抜いた場合、エンジンをOFFにし、本体LED消灯を確認後、エンジンをかけなおしてください。



① 次のように常時電源コードを接続します。



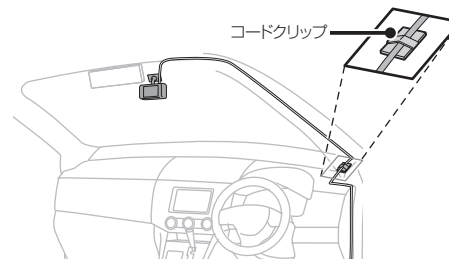
② 車両のエンジンをONにします。本体のLEDランプが点灯し、本機が起動することを確認します。

③ 必要に応じて本機のパーキングモードを設定します。(P37参照) 工場出荷時は「オン 常時+イベント」です。

配線処理

コード類は運転の妨げとならないように、付属のコードレールやコードクリップなどを利用して、配線処理してください。

余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間に入れます。



コードレールの溝にコード埋め込みます。



⚠️ 注意

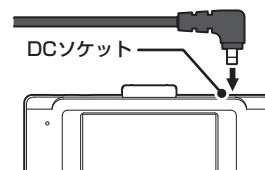
- 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- コードを車のダッシュボードなどに固定した場合は、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分ご注意ください。

⚠ 注意

microSD カードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

- microSDカードは、付属のmicroSDカードをご使用ください。また、microSDカードは、本機に挿入されています。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの損失や記録できない可能性があります。
- microSDカードを本体電源が入った状態で抜き差ししないでください。本機が正常に動作しない場合があります。
- microSDカードを取り出すときは、本機から常時電源コードを外し、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してください。その後microSDカードを取り出してください。動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと録画を終了することができず、記録映像が中断されるか一部分が削除されるなど、場合によってはmicroSDカードが破損するおそれがあります。
- microSDカードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能でおこなってください。
- 付属のmicroSDカードをフォーマット、または画像モードを変更すると、記録ファイルや専用ビューアソフトは全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- 市販のmicroSDカードによっては認識しにくいものや、挿入、取り出しにくいものがあります。
- 市販のmicroSDカードを挿入すると、カードの異常エラーを表示する場合があります。画面の指示にしたがってフォーマットをおこなってください。
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
- パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。
- 本体の設定情報は、microSDカード内に保存されています。本機以外でフォーマットや新たなmicroSDカードを使用すると、設定情報が無いため、本機の設定は初期値に戻ります。

5 常時電源コードを接続する。



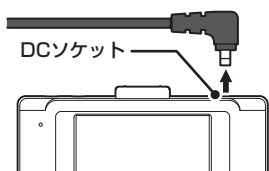
⚠ 注意

- microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。
- microSDカードには向きがあります。差し込む向きに注意して最後まで確実に挿入してください。正しく挿入されていないとmicroSDカードの破損、および誤動作の原因になります。
- microSDカードの接続端子には手を触れないでください。汚れや異物が付着するとカード内のデータが損失するおそれがあります。

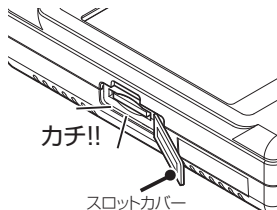
microSDカードの挿入

* microSDカードは本機の動作中、挿入または取り出ししないでください。

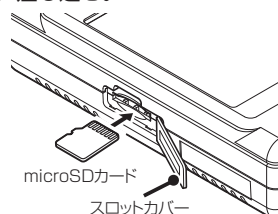
1 常時電源コードを外し、電源OFFになっていることを確認する。



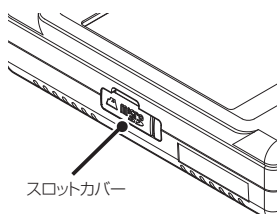
3 microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認する。



2 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードの向きに注意してスロットに差し込む。



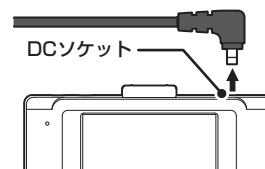
4 スロットカバーを閉じる。



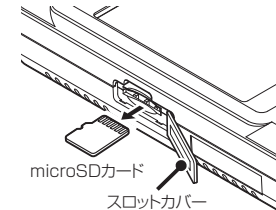
microSDカードの取り出し

* microSDカードは本機の動作中、挿入または取り出ししないでください。

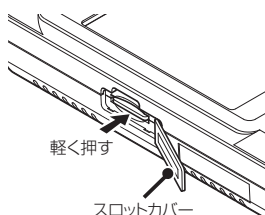
1 常時電源コードを外し、電源OFFになっていることを確認する。



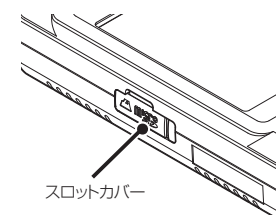
3 microSDカードを取り出す。



2 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードを軽く押し込む。



4 microSDカードを取り出したあと、スロットカバーを閉じる。



⚠ 注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 車の運転中は本機の操作を絶対にしないでください。
- 映像の記録は、microSDカードが正しく挿入されているときのみ可能です。
- 映像の記録中にmicroSDカードが取り出されると警告音となり、記録の映像の一部が削除される場合があります。
- 電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

電源のON/OFF



■ 電源のON

本機には電源ボタンがありません。電源を入れるには、常時電源コードが車両に繋がれている状態で車のエンジンをかけます。

電源が投入されると、LEDが点灯し、効果音が鳴りディスプレイにオープニング画面が流れたあと、ボイスアシストでお知らせし、常時録画を開始します。

- * ディスプレイに画面を表示させない場合は、設定メニューの「画面表示」をオフにしてください。(P37参照)
- * 画像モード設定によりディスプレイに表示されるカメラ映像の解像度は異なります。
- * 電源をONにした時に画面の向きを自動的に反転して調整します。

■ 電源のOFF

エンジンを停止させると最後の録画ファイルを安全に保存し、LEDが消灯し、効果音のあと電源が自動的にOFFになります。

エラーメッセージ

■ microSDカード認識エラー

microSDカードが「挿入されていない」、「フォーマットされていない」、「破損している」などの異常が発生した場合、LEDが消灯し、効果音とボイスアシストが出力され、本機のディスプレイに左のエラーを表示します。

- * フォーマットしてもディスプレイに「SDカード認識エラー」を表示する場合は、新しいmicroSDカードに交換してください。

ボイスアシスト：SDカードを認識しません。

SDカード認識エラー
SDカードが「挿入されていない」
「フォーマットされていない」
「破損している」などの異常です。

■ microSDカードファイルシステムエラー

新しいmicroSDカードと交換してmicroSDカードのファイルシステム、またはアロケーションサイズが違ってしまった場合、LEDが消灯し、効果音が出力され、本機のディスプレイに左のエラーを表示し、フォーマットの確認をおこないます。

SDカードのファイルシステム、
またはアロケーションサイズが間違っています。
(フォーマットするとデータは全て消去されます)

実行

■ カメラ異常エラー

カメラの初期化エラーなどが発生した場合、LEDが消灯し、効果音が出力され、本機のディスプレイに左のエラーを表示します。

- * ディスプレイに「カメラに異常があります」を表示した場合は、システムリセットまたは本体初期化+microSDカードフォーマットをおこなってください。(P50参照)

カメラに異常があります。
カスタマーサービスまで
ご連絡ください。

ディスプレイ

本機が起動すると、次の画面を表示します。

画面をタップして、設定メニューの変更または録画映像の再生ができます。

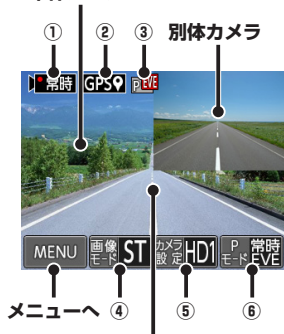
* 再生する場合は「再生モード」(P40参照)、設定メニューの変更は「設定の変更方法」(P35～38参照)をご覧ください。

* 別体カメラを接続していない場合、上部に別体カメラ未接続アイコン (別体カメラ) を表示し、小窓は表示されません。
* 工場出荷時の表示状態となります。設定の「別体カメラ表示」をメインに変更するとメイン画面が本体カメラから別体カメラの映像に切り替わります。

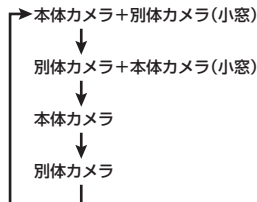
* アイコン表示オフ、V-OUT時は、画面をタップするとモード切り替え画面に切り替わります。

本体カメラ

■ 画面アイコンの種類



別体カメラ接続時、画面をロングタップ (3秒後に指を離す動作) すると、ディスプレイに表示される映像が次のように切り替わります。



アイコン	内容
① 録画モード	<ul style="list-style-type: none"> 常時 常時録画の状態 アイコンをタップするとクイック録画を開始します。 イベント イベント録画の状態 クイック クイック録画の状態
② GPS	GPSを測位するとアイコンが表示されます。
③ パーキングモードアイコン	<ul style="list-style-type: none"> P-EVE パーキングモードのイベント録画ファイルが記録されています。 P-MO パーキングモードのモーション録画ファイルが記録されています。 P-EVE MO パーキングモードのイベントとモーション録画ファイルが記録されています。
④ 画像モード設定	<ul style="list-style-type: none"> CU カスタム HI 高画質 (タップすると画像モード設定にショートカットできます。) ST 標準 LO 長時間
⑤ カメラ設定	<ul style="list-style-type: none"> NM ノーマル HDR HDR NV ナイトビジョン (タップするとカメラ設定にショートカットできます。) HD1 HDR+ ナイトビジョン1 HD2 HDR+ ナイトビジョン2 HD3 HDR+ ナイトビジョン3
⑥ パーキングモード設定	<ul style="list-style-type: none"> 常時 オン 常時 MO オン モーション (タップするとパーキングモード設定にショートカットできます。) 常時+イベント オン 常時+イベント (* オプションの常時電源コードを接続すると表示されます。) 常時+イベント オン モーション+イベント オフ オフ

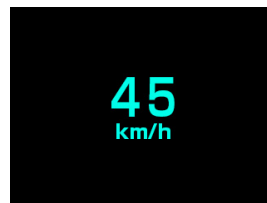
* 設定メニューの「アイコン表示」をオフにすると非表示にできます。(P37参照)

* インポーズ記録をオンにすると、記録映像の上に重ねて現在の日時情報、現在の緯度経度、走行速度を録画できます。(P37参照)

設定メニューの「画面表示」で速度または時計に設定し、表示することができます。(P37参照)

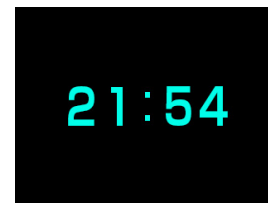
* 画面をタップするとカメラ映像を表示して、メニューやクイック録画の操作が可能になります。

* カメラ映像を表示していない場合も録画されます。

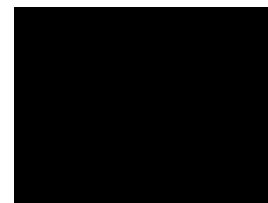


速度

* GPSが未測位のときは「---km/h」と表示されます。



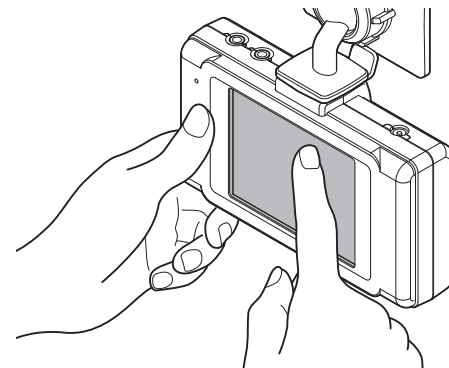
時計



オフまたはオールオフ

タッチパネルについて

本機の操作は、タッチパネルに直接触れて (タップして) おこないます。操作する際は、本機を図のように片手で支え、画面に表示されたボタンを指先でタップしてください。



タッチパネルの操作

タップ：画面をタッチして、すぐ指を離す動作

ロングタップ：画面をタッチして、3秒後に指を離す動作

⚠ 注意

- 市販の液晶保護シートやシールを貼ると、スムーズに動かなくなる場合があります。
- 片手で本機を支えながらタッチパネルを操作してください。本機の傾き方が変化するとGセンサーによって機能の一部に影響が出る場合があります。誤作動を起こした場合は、傾きを戻し電源を入れなおしてください。
- 操作の実行は、タッチパネルをタップして指を離れたときに判定されます。またタップした場所と指を離れた場所が大きく移動していた場合、正しく判定されない場合があります。
- 本機のタッチパネルは感圧式です。しっかりタップして操作してください。また2箇所以上同時に押すと誤作動の原因となります。
- 本製品のタッチパネルは感圧式のため、タップした際に、画面が沈んだような状態になりますが、正常動作です。

* タッチパネルの反応にズレが発生した場合、キャリブレーション設定 (P51参照) にてタッチパネルを補正してください。

⚠ 注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 走行中は、本製品を絶対に操作しないでください。交通事故の原因となります。走行中は、必ず同乗者が操作をおこなうか、車両を停車してから操作をおこなってください。
- タッチパネルを強く押しついたり、先の尖ったもので押さないでください。タッチパネルが割れて、ケガや故障の原因となります。
- タッチパネルの汚れは市販の眼鏡拭きなどで乾拭きしてください。水、有機溶剤および酸・アルカリなどの薬品で表面を拭くと故障の原因となります。

録画モードについて

本機が動作すると同時にLEDが点滅し、常時録画が自動的に開始します。

録画モードの状態は、画面アイコンで確認できます。(P28参照)

* 記録中の音声録音しない場合、設定で「音声録音」をオフにしてください。(P36参照)

常時録画モードとイベント録画モード

■ 常時録画モード

LEDが点滅し、1分単位で録画し続けます。

1分 1分 1分 1分 1分 継続...

* パーキングモード時は、画像モード設定により録画時間が変動します。(P57参照)

■ イベント録画モード (自動)

常時録画中にイベント (走行中の外部衝撃や事故) が発生した場合、常時録画を中断して、効果音とLEDが点滅 (速い) し、前後のイベント録画ファイルを生成します。イベント録画モード後、常時録画モードに戻ります。

イベント発生

5秒 20秒

1分 0~1分 1分

* 常時録画はイベント発生まで録画します。

- * イベントとは、衝撃を検知した場合という意味で使用しています。センサーが高感度に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。センサー感度が低感度に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。「3Gセンサー感度(P36参照)」で調整することができます。
- * 車や運転の状態など様々な要因により、イベント録画にならない場合があります。
- * 記録映像がmicroSDカードの容量を超えた場合、古い記録映像データから順次自動消去されます。
- * 常時録画とイベント録画で生成されたファイルは指定のフォルダに保存されます。
- * 常時録画 (microSDカード総容量の73%)、イベント録画 (microSDカード総容量の20%) で分割管理されています。
- * 本体カメラと別体カメラの記録映像は、1つのファイルで保存されます。専用ビューアソフト以外では、正しく再生できない場合があります。
- * 録画モードでイベント録画 (手動による撮影も含む) をおこなっている最中は、タッチパネルの操作を受け付けません。タッチパネルの操作をおこなう場合は、常時録画中におこなってください。
- * 録画中の状況により、録画のビットレートは可変します。
- * 事故等発生した場合、録画ファイルを上書きしないよう、本機からmicroSDカードを取り出して保管してください。
- * スーパーキャパシタ (蓄電能力を持つコンデンサ) により、事故の衝撃で電源ケーブルが外れてしまっても録画映像を正常に保存します。

microSDカードの保存先とファイル名について

録画モード	保存フォルダ名	ファイル名	最大保存容量
常時録画モード	INFINITE	通常時 : NNF_****.avi	microSDカード総容量の73% (最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)
		パーキングモード : PNF_****.avi	
		パーキングモード (モーション) : PMF_****.avi	
イベント録画モード	EVENT	通常時 : NEF_****.avi	microSDカード総容量の20% (最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)
		パーキングモード : PEF_****.avi	

* ファイル名の****には、年月日-時分秒が入ります。例: 201130-101010は、2020年11月30日10時10分10秒です。

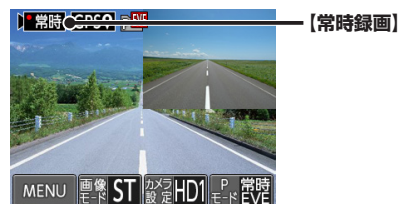
クイック録画機能 (手動)

イベントを手動で録画するための機能です。

記録映像はmicroSDカードの[EVENT]フォルダに保存されます。

- * 「アイコン表示」をオンにしてください。(P37参照)
- * V-OUT (ビデオ出力) がオン時または、画面表示がオフ時は動作しません。
- * 録画映像は、【常時録画】をタップした5秒前と20秒後を含み記録します。
- * この機能は、本機がイベント録画中である場合は使用できません。
- * 画面表示が時計、速度、オフの場合、画面をタップするとカメラ映像を表示して操作が可能になります。

1 本機の動作中に【常時録画】をタップする。



効果音とLED点滅 (速い) し、イベント録画をおこないます。



撮影モードについて

静止画を手動撮影するためのモードです。

撮影した画像 (JPGファイル) はmicroSDカードの[CAPTURE]フォルダに保存されます。

- * microSDカード総容量の2%に保存可能です。最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます。
- * 撮影された静止画 (JPGファイル) は、本機や専用ビューアソフトで表示できません。直接パソコンなどでmicroSDカードから参照してください。
- * 画面表示が時計、速度、オフの場合、画面をタップするとカメラ映像を表示して操作が可能になります。

1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切り替える。



2 【撮影モード】を選択 (タップ) する。



3 【カメラアイコン】をタップする。



カメラアイコン以外をタップすると、撮影機能を終了します。

パーキングモードについて

付属の常時電源コード (GDO-10) を使用するとタイマー機能、電圧監視機能により、最大12時間本機に電源を供給します。録画方式は常時、モーション、常時+イベント、モーション+イベントから選択できます。パーキングモードは、エンジンを停止しACCがOFFになってから約6秒後に作動します。(画面が消え、LEDが遅く点滅します。) エンジンを始動し、ACCがONになると、約6秒後にパーキングモードを解除し、常時録画をおこないます。

* 常時電源コード (GDO-10) の取り付けについて (P21参照)

警告

- パーキングモードは、必ず付属の常時電源コード (GDO-10) を使用してください。
- パーキングモードによる車のバッテリー上がりに関して弊社は一切の責任を負いません。お客様自身にて、定期的なバッテリー点検をおすすめいたします。
- 暗い場所など録画できない場合があります。
- パーキングモードの設定を「オフ」にしても電源が供給されます。完全に電源の供給をオフにするには、常時電源コード (GDO-10) の時間設定を「0時間」にしてください。
- パーキングモードは、周囲の状況により、正常に動作しない場合があります。
- 車両がスリープモード時に電圧降下しない電源に配線してください。

パーキングモードの録画仕様について

画像	D1 (別体カメラ:D1)
画質	低
明るさ	中
コントラスト	中

* パーキングモードのバッテリー電源供給時間は、常時電源コード (GDO-10) のディップスイッチの設定で動作します。(P21参照)

* パーキングモード中は、本体カメラと別体カメラで録画し、1つのファイルに保存されます。

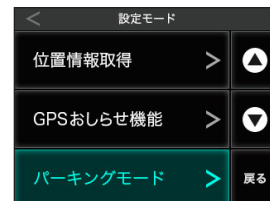
* カメラ接続コードが外れたなど、別体カメラを認識していない場合、本体カメラだけで録画されます。

パーキングモードの録画モード設定

1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切り替える。



2 【設定モード】を選択 (タップ) する。



3 【▼】をタップして画面をスクロールさせ、【パーキングモード】をタップする。



4 録画モードを選択 (タップ) する。

* 録画モードについて (P30参照)

設定を終了して録画モードに戻る場合は、画面右部の【戻る】をタップしてモード切替え画面まで戻り、【録画モード】をタップします。



常時電源コードが接続されると、画面に「パーキングモード設定」のアイコンを表示します。

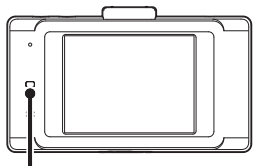
* パーキングモードのアイコンは、パーキングモードの録画モードにより異なります。(P28参照)

パーキングモードの録画モード

オン 常時	常時録画を記録しつづけます。(古いファイルは消去されます。)
オン モーション	本機のカメラがモーション (動作) を検知した場合、常時録画を1ファイル記録します。
オン 常時+イベント	常時録画とイベント録画をおこないます。イベントが発生した場合、1ファイルに25秒 (前5秒、後20秒) のイベント録画を記録します。
オン モーション+イベント	本機のカメラがモーション (動作) を検知した場合、常時録画を1ファイル記録し、イベントが発生した場合、1ファイルに25秒 (前5秒、後20秒) のイベント録画を記録します。

* パーキングモード中の常時録画またはモーション録画は、1ファイルに記録される録画時間が、画像モード設定により変動します。(P57参照)

パーキングモードのLED動作



LED ランプ

常時録画	遅い点滅
モーション録画	検知：遅い点滅 待機中：遅い2回点滅
イベント録画	速い点滅

パーキングモードの動作

エンジンを停止し、ACCがオフになってから6秒後、パーキングモードが作動し、画面が消え、録画モードの状態をLEDの点滅で表示します。

- ・パーキングモードの動作中、【常時録画】をタップすると、LEDが速く点滅し、クイック録画をおこないます。録画後、LEDが遅く点滅します。
- ・パーキングモードの動作中、V-OUT（ビデオ出力）はオフになります。

パーキングモードの動作中、イベントが発生した場合

エンジンをオンにし、本機が起動した際に「録画ファイルがあります。」と音声出力し、「パーキングモード」のアイコンを表示します。次回起動時、アイコンは消えます。（P28参照）



【パーキングモードアイコン】



microSDカードのEVENTフォルダに保存されます。

- * パーキングモード中のイベント録画の感度は、パーキングモード感度に調整してください。
- * イベント録画が発生した初回の起動時のみお知らせします。

パーキングモードの動作中、モーション録画が発生した場合

エンジンをオンにし、本機が起動した際に「録画ファイルがあります。」と音声出力し、「パーキングモード」のアイコンを表示します。次回起動時、アイコンは消えます。（P28参照）



【パーキングモードアイコン】



microSDカードのINFINITEフォルダに保存されます。

- * パーキングモード中のモーション録画は、1ファイルに記録される録画時間が、画像モード設定により変動します。
- * モーション録画が発生した初回の起動時のみお知らせします。

各種設定の変更

設定の変更方法（例：アイコン表示）

各設定メニュー（P36～38参照）を変更する場合は、以下の手順でおこないます。

専用ビューアソフトで本体の設定も可能です。詳しくは、付属のmicroSDカードに収録している専用ビューアソフトの説明書をご覧ください。

* 設定中は、録画はできません。

* 設定メニュー画面にて1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切り替わります。



1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切り替える。

* アイコン表示オフ、V-OUT時は、画面をタップするとモード切替え画面に切り替えます。



2 【設定モード】を選択（タップ）する。



3 設定モード画面右部の【▲ ▼】をタップして、変更する設定メニューを選ぶ。



4 変更したい設定項目を選択（タップ）し、設定内容を切り替える。設定項目が多い場合は、画面右側の【▲▼】をタップし、項目をスクロールさせます。



5 引き続き他の設定を変更する場合は、画面右部の【戻る】をタップして設定モード画面まで戻り、画面右部の【▲ ▼】をタップして、設定メニューを選ぶ。

設定を終了して録画モードに戻る場合は、画面右部の【戻る】をタップしてモード切替え画面まで戻り、【録画モード】をタップします。

設定一覧

* 設定値は初期設定のものです。

メインメニュー	設定値	設定項目
音量調整	2	3 : 音量を (大) にします。 2 : 音量を (中) にします。 1 : 音量を (小) にします。 0 : 音量を (無) にします。
画像モード設定	高画質	高画質 : 録画画質を高画質に適した設定にします。 標準 : 録画画質を標準的な設定にします。 長時間 : 録画画質を長時間録画に適した設定にします。 カスタム : 録画画質などの設定をお好みで設定できます。(P38 参照)
カメラ設定	HDR ナイトビジョン 1	ノーマル : HDR、ナイトビジョンによる画像補正をおこないません。 HDR : HDR による画像補正をおこない、急激な明るさの変化が発生しても白トビや黒ツブレを低減します。 ナイトビジョン : ナイトビジョンによる画像補正をおこないません。 : STARVIS により、夜間・トンネルなど光量の少ない場所でも鮮明な映像を記録できます。HDR による画像補正は おこないません。 HDR ナイトビジョン 1 : HDR とナイトビジョンによる画像補正をおこないます。 ナイトビジョンによる光量の効果は (小) です。 HDR ナイトビジョン 2 : HDR とナイトビジョンによる画像補正をおこないます。 ナイトビジョンによる光量の効果は (中) です。 HDR ナイトビジョン 3 : HDR とナイトビジョンによる画像補正をおこないます。 ナイトビジョンによる光量の効果は (大) です。 * カメラ設定は本体カメラ用です。別体カメラはHDR固定となります。
別体カメラ表示	オン	オン : 本体カメラをメイン、別体カメラを小窓で表示します。 オン 優先 : 別体カメラをメイン、本体カメラを小窓で表示します。 オフ : 別体カメラを非表示にします。 メイン : 別体カメラをメインで表示します。
音声録音	オン	オン オフ
3G センサー感度	6	10 : 3G センサーを高感度に設定します。 9 8 7 6 5 4 3 2 1 : 3G センサーを低感度に設定します。 カスタム : 3G センサーの設定をお好みで設定できます。(P38 参照)
録画モード	オン 常時+イベント	常時 : 常時録画 (1 分単位) します。 常時+イベント : 常時+イベント録画します。
画面明るさ	4	4 : ディスプレイの輝度を最大にします。 3 2 1 : ディスプレイの輝度を最小にします。
ディマラー	オン	オン : ディマラー機能を設定します。 オフ : ディマラー機能を設定しません。 * ディマラーを「オン」にすると、4月～10月は18:00～5:00、11月～3月は17:00～6:00にディスプレイの輝度を自動で下げます。

設定一覧 (つづき)

* 設定値は初期設定のものです。

* は常時電源コード接続時、項目が表示されます。

メインメニュー	設定値	設定項目
ボイス	オン	オン : 音声案内をおこないます。 オフ : 音声案内をおこないません。
画面表示	オン	オン : カメラ映像を表示します。 オン 時計 : ディスプレイに時計を表示します。 オン 速度 : ディスプレイに速度を表示します。 オフ : 画面表示しません。 オールオフ : 画面、LED、ボイスをオフにします。
アイコン表示	オン	オン : ディスプレイにアイコンを表示します。 オフ : ディスプレイにアイコンを表示しません。
インポーズ記録	オン	オン : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度、走行速度を記録します。 オフ : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度、走行速度を記録しません。
V-OUT (ビデオ出力)	オフ	オン : 外部モニターに録画中の映像を出力します。 オフ : 外部モニターに録画中の映像を出力しません。 (P46 参照)
位置情報取得	オン	オン : GPS から位置情報を取得し記録、表示します。 オフ : GPS から位置情報を取得しません。
GPS おしらせ機能	オフ	取締機 : オービスなど速度取締機の設置ポイントをお知らせします。 高速道逆走注意エリア : 高速道路上の逆走が発生しやすいエリアをお知らせします。 ゾーン 30 : 生活道路における歩行者などの安全な通行を確保することを目的として、制限速度30キロに設定された区域 (ゾーン 30) をお知らせします。 事故多発エリア : 事故発生率の高いエリアです。 事故多発路線 : 事故発生率の高い路線です。 小学校 : 学校付近でお知らせします。 中学校 : 学校付近でお知らせします。
データ情報		データ情報 : GPS データの版数を確認します。
パーキングモード	オン 常時+イベント	オン 常時 オン モーション オン 常時+イベント オン モーション+イベント オフ
パーキングモード感度	6	10 : パーキングモード中のイベント録画の 3G センサーを高感度に設定します。 9 8 7 6 5 4 3 2 1 : パーキングモード中のイベント録画の 3G センサーを低感度に設定します。
フォーマット	—	(P49 参照)
キャリブレーション設定	—	(P51 参照)

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブメニュー

画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧

* 設定値は初期設定のものです。

カスタム	設定値	設定項目
画像	D1	FHD (別体カメラ:HD) HD (別体カメラ:D1) D1 (別体カメラ:D1)
画質	低	高 標準 低
明るさ	中	明 中 暗
コントラスト	中	高 中 低

3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧

* 設定値は初期設定のものです。

カスタム	設定値	設定項目
前後	10 9 8 7	: 3G センサーを高感度に設定します。
左右	6 5 4 3 2	
上下	1 オフ	: 3G センサーを低感度に設定します。 : 3G センサーをオフに設定します。

画像モード設定

画像モード設定では、録画画像の画質や画像サイズなど細かな設定を各モードにあわせた最適な内容に設定してあります。走行時の状況やお好みにあわせて変更することができます。

* 設定中は、録画できません。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルや専用ビューアソフトが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。専用ビューアソフトのダウンロードについて (P52参照)



1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切り替える。

2 【設定モード】を選択 (タップ) する。

3 【画像モード設定】を選択 (タップ) する。
「画像モード設定」画面に切り替わります。

4 設定したい画像モードを選択 (タップ) する。

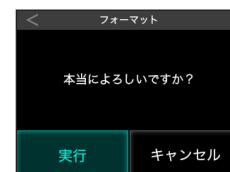
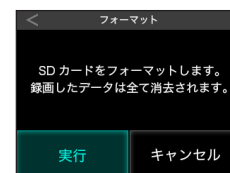
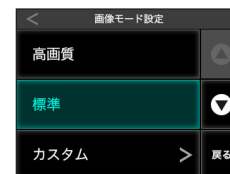
5 【戻る】をタップして設定を確認する。
ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生します。

* カスタムは画像または画質を変更するとフォーマットが発生します。

6 【実行】をタップする。
【キャンセル】: 画像モード設定をキャンセルし、設定モードに戻る

7 【実行】をタップする。
【キャンセル】: 画像モード設定をキャンセルし、設定モードに戻る

* 録画データ、専用ビューアなどが消去されます。事前にバックアップをおこなうことをおすすめします。



ディスプレイには「フォーマット実行中」と表示します。フォーマット完了後、自動的に再起動をおこない、録画モードが開始されます。

再生モード

録画した記録映像を本機のディスプレイで再生することができます。

- * 再生モード中は、録画できません。
- * 外部モニターなどで再生することはできません。

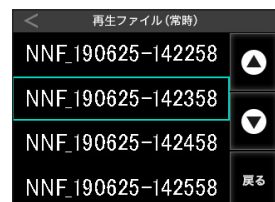
1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切り替える。



2 【再生モード】を選択（タップ）する。



3 【常時】または【イベント】を選択（タップ）する。「再生ファイル」画面に切り替わります。



4 ファイルを選択（タップ）する。再生ファイルが多い場合は、画面右側の【▲▼】をタップし、ページをスクロールさせます。

- * ファイル名について（P30参照）
- * ファイルは、記録された時間の順に表示されます。
- * 再生ファイルは、常時録画で1分です。
- * ファイル名は実際の製品と異なります。

5 本機のディスプレイで再生を開始する。再生モード中は、画面をロングタップすると次の2種類の表示方法で切り替わります。

- ①本体カメラのみ ②別体カメラのみ
- 再生モード中に画面をタップするとファイルの選択に戻ります。



GPSおしらせ機能

* 初期設定はオフ

内蔵のGPSデータにより安全運転に役立つGPS警告をおこないます。MyCellstarで最新のGPSデータに更新できます。

- * GPSおしらせ機能（個別設定）をオンにしてください。
- * GPSの測位状態によっては、GPSおしらせ機能が動作しない場合があります。



取締機

オービスなど速度取締機の設置ポイントを500m手前でお知らせします。



高速道逆走注意エリア

高速道路上の逆走が発生しやすいエリアをお知らせします。

- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。
- * ポイントによりおしらせする場所が変わります。



ゾーン30

生活道路における歩行者などの安全な通行を確保することを目的として、制限速度30キロに設定された区域（ゾーン30）をお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下の時に警告します。
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。
- * ポイントによりおしらせする場所が変わります。



事故多発エリア

事故発生率の高いエリアを500m手前でお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下の時に一般道に対し、80km/h以上の時に高速道に対し警告します。
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。



事故多発路線

事故発生率の高い路線を500m手前でお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下の時に一般道に対し、80km/h以上の時に高速道に対し警告します。
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。



小学校

学校付近でお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下の時に警告します。
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。



中学校

学校付近でお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下の時に警告します。
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイ

MyCellstarについて

「MyCellstar」は、GPSデータのダウンロードをおこない、最新のGPSデータに更新ができます。詳しくは「MyCellstar」のサイトをご覧ください。

<http://www.mycellstar.jp>

■ 用意するもの

- 2GB以上のSDHC規格に準拠したFAT32形式でフォーマットされた空きのmicroSDカード
- * 付属のmicroSDカードにGPSデータを入れて更新しないでください。

■ パソコンの推奨環境

- OS : Windows (7/8/10以降)
Macintosh (MacOS X 10.5以上)
- CPU : Intel Core2 Duo相当性能
- メモリ : 1GB以上
- グラフィックメモリ : 256MB以上

■ スマートフォンの推奨環境

- OS : Android 5.0以降
- * iOS、Android4.4、microSDカードスロットが無いスマートフォンには対応していません。
- * Android5.0以降、SDカードの書き込み権限の設定が必要です。
- * スマートフォンは、メモリ状況、使用環境などさまざまな要因によりアプリが正常に動作しない場合があります。

パソコンでGPSデータをダウンロード

1 ブラウザでMyCellstar (<http://www.mycellstar.jp>) を開く。



2 リストからTZ-D205Wを選択し、保存をクリックする。



3 GPSデータにチェックを付け、【次へ】ボタンをクリックする。



4 【ダウンロード】ボタンをクリックする。



はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

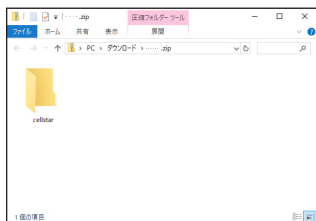
困ったときは

その他

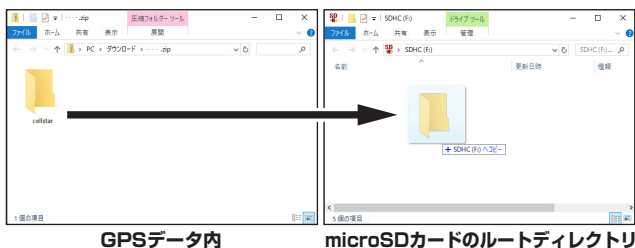
アフターサービス

各種設定

5 ダウンロードされたGPSデータ（ZIPデータ）を開く。



6 GPSデータ内の「cellstar」フォルダごとmicroSDカードにコピーする。



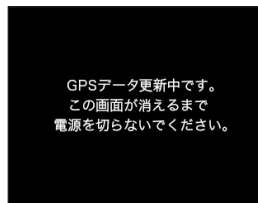
最新のGPSデータが入ったmicroSDカードができあがります。

GPSデータ更新

「MyCellstar」からダウンロードした最新のGPSデータが入ったmicroSDカードを用意します。（P42参照）詳しくは「MyCellstar」のサイトをご覧ください。

<http://www.mycellstar.jp/>

- 1 常時電源コードを外し、電源を切る。
- 2 最新のGPSデータが入ったmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入する。（P24参照）
- 3 常時電源コードを接続して電源を入れる。
自動的にGPSデータが更新され、本体が再起動します。



GPSデータの版数確認

- 1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切り替える。
- 2 設定モード→GPSお知らせ機能→データ情報



内蔵のGPSデータの版数が表示されます。

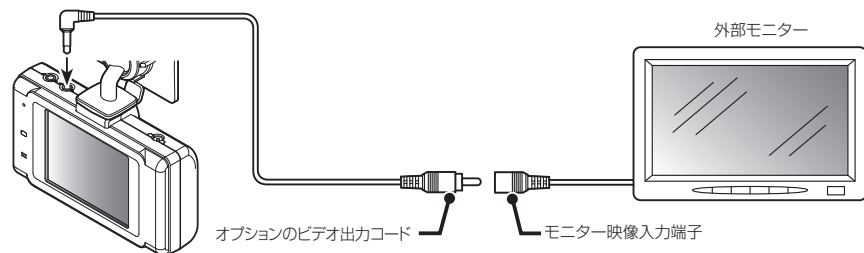
外部モニター表示

オプションのビデオ出力コードで外部モニターに接続するとディスプレイの映像を外部のモニターに表示できます。（映像のみ、音声は出力されません）

⚠ 注意

・本機で記録した映像は、外部モニターなどで再生することはできません。必ず本機のディスプレイにて再生をおこなってください。

■ 外部モニターとの接続



- 1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切り替える。
- 2 【設定モード】をタップする。
- 3 【▼】をタップして画面をスクロールさせ、【V-OUT】を選択（タップ）する。
- 4 【オン】を選択（タップ）する。
【戻る（メインメニューへ）】：「メインメニュー」画面に戻る
- 5 【戻る】を選択（タップ）して、モード切替え画面まで戻る。
- 6 【録画モード】を選択（タップ）して、常時録画をおこなう。
確定後、ディスプレイがオフになります。



外部モニターには次のように表示されます。
本体の画面をロングタップするとカメラ映像が切り替わります。

別体カメラ表示	外部モニターの表示内容
オン	別体カメラの映像 本体カメラの映像
オン 優先	本体カメラの映像 別体カメラの映像
オフ	本体カメラの映像
メイン	別体カメラの映像

- * 必ずオプションのビデオ出力コードをご使用ください。他のコードを使用すると映像が正しく表示されない、または誤動作を起こす場合があります。
- * モニターの種類によっては端子の形状が異なる場合があります。
- * 電源ON時、一時画像が乱れることがありますが、異常動作ではありません。
- * 本体の画面をタップすると、モード切り替え画面になります。

TZセーフティレコーダーに接続

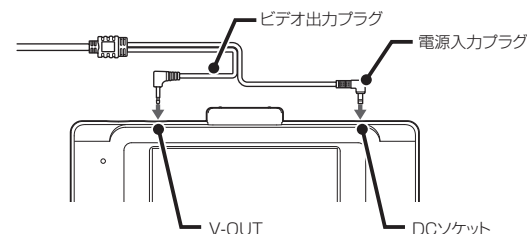
オプションのTZセーフティレコーダー接続コードで本機とTZセーフティレコーダー（カメラ警告対応）を接続すると、本機の映像をTZセーフティレコーダーに表示することができます。また、本機の電源もTZセーフティレコーダーから供給されます。

- * 詳しくは、弊社ホームページの接続対応表をご覧ください。（<https://www.cellstar.co.jp>）
- * 付属の常時電源コードと併用はできません。

⚠ 注意

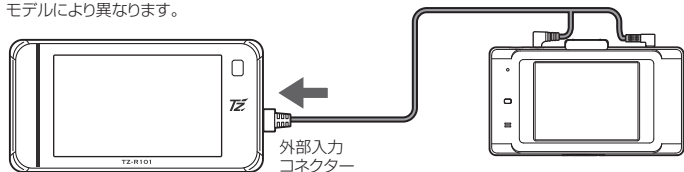
・本機で記録した映像は、TZセーフティレコーダーの画面で再生することはできません。必ず本機のディスプレイにて再生をおこなってください。

- 1 TZセーフティレコーダー接続コードのビデオ出力プラグと電源入力プラグを本機に差し込む。



2 TZセーフティレコーダー接続コードの外部入力コネクタをTZセーフティレコーダーの外部入力ソケットに差し込む。

※TZセーフティレコーダー本体のイラストはモデルにより異なります。



V-OUT (ビデオ出力) の設定を変更してください。(P37参照)

3 TZセーフティレコーダーの取扱説明書を参照し外部入力の設定を変更する。

オン (待受、警告) : カメラ警告 (ライブビュー) として使用する設定 ※工場出荷時の設定
 オン (モニター) : ドライブレコーダーのモニターとして使用する設定

GPS測位について

GPSを利用した機能を使用するために、GPSの測位確定が必要となります。本機の電源が入ると、自動的にGPS測位がはじまります。GPSを測位すると測位アナウンスをおこない、GPSアイコンが表示されます。(P28参照)

✓ アドバイス

お買い求めいただき、初めてお使いになる場合

- GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合がありますが (15分程度) これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS測位に20分以上かかる場合は、電源を入れなおしてください。
- トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどではGPSを測位しにくくなる場合があります。
- GPS機能を使用するには、GPS測位中に限られます。

* GPSの測位状態によっては、GPSおしらせ機能が動作しない場合があります。

超速 GPS について

自車位置を素早く約10秒でGPSを測位するので、ドライブをスムーズにスタートします。

✓ アドバイス

- GPS衛星を受信しにくい条件の場合、時間がかかる場合があります。
- 前回のGPS受信から72時間を経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。
- 最後に電源をOFFにしてから直線距離で300km以上離れた地点で電源をONにした場合、最後に電源をOFFにして次に電源をONしたときにGPS衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。

業界最多の対応衛星

GPS、グロナス衛星、ガリレオ衛星、準天頂衛星みちびき、SBAS (ひまわり、GAGAN) 6種類78基の衛星を受信可能。

* 同時受信可能な衛星は最大32基に加え、SBASの最大2基を補足利用します。

* 2019年1月現在稼働数より (一時使用禁止衛星を除く)

フォーマット

microSDカードを初期化し、設定した録画画質によって microSDカードにセルスター独自のファイルシステムが適応されます。

* microSDカード内の記録ファイルや専用ビューアソフトが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。専用ビューアソフトのダウンロードについて (P52参照)

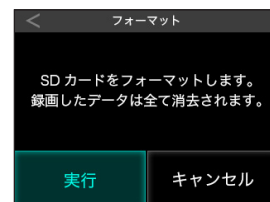
* 本機でフォーマットしても本体の設定値は工場出荷時に戻りません。

1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切り替える。

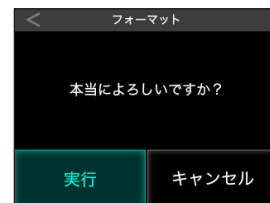


2 【設定モード】を選択 (タップ) する。

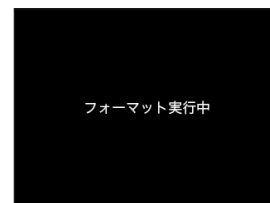
3 【▼】をタップして画面をスクロールさせ、【フォーマット】を選択 (タップ) する。



4 【実行】をタップする。
 【キャンセル】: 「設定モード」画面に戻る



5 【実行】をタップする。
 【キャンセル】: 「フォーマット」画面に戻る

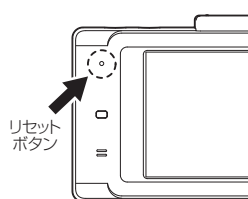


ディスプレイには「フォーマット実行中」と表示します。フォーマット完了後、自動的に再起動をおこない、録画モードが開始されます。

システムリセットと強制初期化

本機が誤動作したり、止まってしまった場合、システムリセットまたは強制初期化をおこなってください。

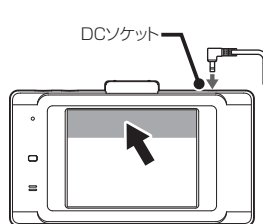
システムリセット



- 1 ピンなどを使用してリセットボタンを押す。
本機がリセットされます。

強制初期化

- * microSDカード内の記録ファイルや専用ビューアソフトが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。専用ビューアソフトのダウンロードについて（P52参照）
- * 強制初期化をおこなうと、本体の設定値が工場出荷時（P36～P38）に戻ります。必要に応じて再設定をおこなってください。



- 1 常時電源コードのプラグを抜き、電源をOFFにする。
- 2 画面の上部（本体反転時も上部）をタップしながら常時電源コードのプラグを接続し、電源を入れると、フォーマット動作に切り替わる。
- 3 フォーマットが実行される。

キャリブレーション設定

タッチパネルの反応にズレが発生した場合、キャリブレーション設定にてタッチパネルを補正してください。

- 1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切り替える。
- 2 **【設定モード】** をタップする。
- 3 **【▼】** をタップして画面をスクロールさせ、**【キャリブレーション設定】** をタップする。



- 4 ①～⑤まで順番で十字（+）表示の真ん中をタップする。
選択が完了すると、キャリブレーション設定を終了し、メインメニューへ切り替わります。



タッチパネルの補正に失敗した場合

タッチ補正に失敗しました。
もう一度、正確に画面の「+」表示を押してください。

左のエラー画面が表示されます。
再度、キャリブレーション設定をおこなってください。

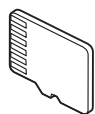
ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像の記録データの確認や本機の設定をパソコンでおこなうことができます。

専用ビューアソフトの動作環境

- CPU： Pentium 4 以上
- OS： Windows 7 / 8 / 10 以上
- メモリ： 1GB 以上
- HDD： 4GB 以上
- GPU： Direct X 9.0c 以上に対応するGPU

専用ビューアソフトと専用ビューアソフトの説明書は、付属のmicroSDカードに格納しています。



[viewer]

[setup.exe]

[専用ビューア説明書.pdf]

付属のmicroSDカード

専用ビューアソフトの使い方は、「専用ビューア説明書.pdf」をご覧ください。
「setup.exe」を起動すると専用ビューアソフトのインストーラーが起動します。
専用ビューア説明書の手順にしたがってインストールしてください。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、弊社ホームページの製品ページからもダウンロードできます。

https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。
また、弊社ホームページのよくあるご質問（FAQ）を参照してください。
<https://faq.cellstar.co.jp/>



症状	考えられる原因	参照
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> • 本機のDCジャックと常時電源コード（GDO-10）は接続されていますか。 • 常時電源コード（GDO-10）のヒューズが切れていませんか。 	P22
起動時間が長い	<ul style="list-style-type: none"> • microSDカードは正しく挿入されていますか。 • * microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。 	P24
録画が開始されない	<ul style="list-style-type: none"> • microSDカードの容量によっては起動時間が長くなる場合があります。 • microSDカードは正しく挿入されていますか。 • * microSDカードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は、microSDカードを取り換えてご使用ください。その際は指定のmicroSDカードをご使用ください。 • * microSDカード内の記録ファイルが破損した可能性があります。 • * microSDカードをフォーマットしてください。 	P6 P24-P25 P49
急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されない。または直ぐに反応してしまう	<ul style="list-style-type: none"> • 「3Gセンサー感度」を調整してください。 • * 使用状況に合わせて、この設定を調整することをおすすめします。 	P36
ひんばんにイベント録画されるまたは録画されない	<ul style="list-style-type: none"> • 「3Gセンサー感度」を調整してください。 • * 使用状況に合わせて、この設定を調整することをおすすめします。 	P36
画面を表示しない	<ul style="list-style-type: none"> • 画面がオフになっていませんか。 • V-OUT（ビデオ出力）がオンになっていませんか。 	P37
再起動する	<ul style="list-style-type: none"> • 本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません。 	—
録画したデータと実際の走行状況が違う	<ul style="list-style-type: none"> • 日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。 	—
パーキングモードを設定できない	<ul style="list-style-type: none"> • 本機が常時電源コードを認識していません。エンジンをかけなおしてください。 	—
設定中に、フォーマット動作になった	<ul style="list-style-type: none"> • 画像モード設定の変更をされていませんか。変更した場合、microSDカードメンテナンスフリー機能を使用するため、フォーマットが発生し、記録ファイルや専用ビューアソフトが消去されます。バックアップされていない場合、常時電源コード（GDO-10）を抜いて電源がOFFになっていることを確認し、microSDカードを抜きパソコンなどにファイルのコピーでバックアップをおこなうことをおすすめします。 	P25
設定が初期値に戻る	<ul style="list-style-type: none"> • 本機以外でフォーマットをおこなっていませんか。 • 新しいmicroSDカードに交換していませんか。 • * microSDカード内に本機の設定ファイルが無いため設定が初期値に戻ります。再設定をおこなってください。 	P24

■TZ-D205Wの仕様

本体カメラ	撮像素子	200万画素 カラー CMOS センサー
	フレームレート	30fps
	視野角	水平 115.8°、垂直 60.2°、対角 141.8°
	F 値	2
	最低被写体照度	3LUX
別体カメラ	撮像素子	100万画素 PIXEL PLUS HD CMOS センサー
	フレームレート	30fps
	視野角	水平 107°、垂直 59°、対角 127°
	F 値	2
	最低被写体照度	3LUX
	録画画素数	100万画素 (HD) / 35万画素 (D1)
録画画質	FullHD	高画質 (12Mbps) / 標準 (10Mbps) / 低画質 (8Mbps) * 別体 (HD) カメラは、高画質 (4Mbps) / 標準 (3.5Mbps) / 低画質 (3Mbps)
	HD	高画質 (7Mbps) / 標準 (5Mbps) / 低画質 (3Mbps) * 別体 (HD) カメラは、高画質 (2Mbps) / 標準 (1.5Mbps) / 低画質 (1Mbps)
	D1	高画質 (2Mbps) / 標準 (1.5Mbps) / 低画質 (1Mbps) * 別体 (HD) カメラは、高画質 (2Mbps) / 標準 (1.5Mbps) / 低画質 (1Mbps)
録画画角	FullHD	水平 115.8°、垂直 60.2°、対角 141.8° * 別体 (HD) カメラは、水平 107°、垂直 59°、対角 127°
	HD	水平 115.8°、垂直 60.2°、対角 141.8° * 別体 (D1) カメラは、水平 85°、垂直 59°、対角 104°
	D1	水平 97.7°、垂直 60.2°、対角 122.4° * 別体 (D1) カメラは、水平 85°、垂直 59°、対角 104°
録画圧縮	録画 AVI(H.264)、静止画 JPEG	
録画トリガ	常時録画 / 常時録画+イベント録画 / クイック録画	
GPS	有り	
HDR	有り * 別体カメラは有りで固定	
3G センサー	有り (衝撃感度 10段階)	
対応外部記憶媒体	microSD カード 8GB ~ 32GB (クラス 10/SDHC 規格準拠、NAND タイプは「MLC」を推奨)、64GB (クラス 10/SDXC 規格準拠、UHS スピードクラス : UHS-1 以上、NAND タイプは「MLC」を推奨) * 弊社オプション microSD カード推奨	
記録データ	日時、加速度、走行速度、位置情報、映像ファイル	
音声録音	有り (オン、オフ設定可)	
外部映像出力	有り (本体ディスプレイか外部かどちらか一方のみ) * 再生時無し	
インターネット地図連動	有り	
電源電圧	DC12V/24V	
動作温度範囲	-10℃ ~ +60℃	
本体サイズ	92 (W) × 23.5 (D) × 51 (H) mm (突起部含まず) * マウントベース取り付け時 82 (H) mm	
本体重量	95g	
別体カメラサイズ	35 (W) × 18 (D) × 35 (H) mm (突起部含まず) * マウントベース取り付け時 65 (H) mm	
別体カメラ重量	20g	
カメラ接続コード	9.0m	
保証期間	3年	

* 「ドライブレコーダー協議会ガイドライン」に基づく表記。

* 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。

■常時電源コード (GDO-10) の仕様

入力電圧	DC12V/24V
動作温度範囲	-25℃ ~ +80℃
プラグ	Φ3.5 (3極)
サイズ	33(W)x53(D)x15(H) (コード部含まず)
重量	143g
内蔵ヒューズ	1A 管ヒューズ 2本
コード長	DC OUT 5.0m / DC IN 1.0m

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

その他

■撮影可能時間の目安 * 別体カメラ接続時

常時録画 / microSD カードの容量		録画品質		
		高画質	標準	低画質
8GB	FullHD	約 31 分	約 41 分	約 53 分
	HD	約 62 分	約 88 分	約 116 分
	D1	約 116 分	約 155 分	約 232 分
16GB	FullHD	約 63 分	約 82 分	約 106 分
	HD	約 125 分	約 176 分	約 232 分
	D1	約 232 分	約 309 分	約 464 分
32GB	FullHD	約 126 分	約 162 分	約 211 分
	HD	約 249 分	約 352 分	約 462 分
	D1	約 462 分	約 616 分	約 924 分
64GB	FullHD	約 254 分	約 330 分	約 424 分
	HD	約 500 分	約 707 分	約 928 分
	D1	約 928 分	約 1238 分	約 1857 分

イベント録画 / microSD カードの容量		録画品質		
		高画質	標準	低画質
8GB	FullHD	約 8 分	約 11 分	約 14 分
	HD	約 17 分	約 23 分	約 32 分
	D1	約 32 分	約 40 分	約 45 分
16GB	FullHD	約 17 分	約 22 分	約 28 分
	HD	約 33 分	約 47 分	約 63 分
	D1	約 63 分	約 79 分	約 91 分
32GB	FullHD	約 34 分	約 44 分	約 56 分
	HD	約 66 分	約 94 分	約 126 分
	D1	約 126 分	約 158 分	約 181 分
64GB	FullHD	約 68 分	約 89 分	約 113 分
	HD	約 134 分	約 188 分	約 254 分
	D1	約 254 分	約 318 分	約 363 分

パーキングモード / microSD カードの容量	最大録画時間
8GB	約 220 分
16GB	約 451 分
32GB	約 900 分
64GB	約 1800 分

* 撮影の状況、被写体などにより記録されるファイルサイズは一定でないため、記録可能時間に差が生じる場合があります。上記は、あくまでも目安となります。

* パーキングモードは、エンジンOFF (ACC) で最大12時間録画します。

■パーキングモードの録画時間について

・パーキングモード中の常時録画とモーション録画
画像モード設定 (P36参照) によって1ファイルに記録される録画時間が変動します。
モーション録画が発生した場合、常時録画を1ファイル記録します。

画像モード設定	画質	1ファイルの録画時間
Full HD	高	430 秒
	標準	335 秒
	低	260 秒
HD	高	220 秒
	標準	155 秒
	低	105 秒
D1	高	120 秒
	標準	90 秒
	低	60 秒

・パーキングモード中のイベント録画
イベント録画が発生した場合、画像モード設定共通で1ファイルに25秒 (前5秒、後20秒) 記録されます。

画像モード設定	画質	1ファイルの録画時間
Full HD	高	25 秒
	標準	
	低	
HD	高	
	標準	
	低	
D1	高	
	標準	
	低	

* モーション録画は、1ファイルの常時録画された動画を保存します。

microSDカードのデータについて

■データ保存について

- ・イベント録画フォルダ (EVENT)
イベントが発生した動画または、クイック録画機能で録画した動画を保存します。
(microSDカード全体容量の20%を使用)
- ・常時録画フォルダ (INFINITE)
常時録画された1分間の動画* または、パーキングモードのモーション録画で録画された動画を保存します。
(microSDカード全体容量の73%を使用)
- * パーキングモード時は、画像モード設定により録画時間が変動します。(P57参照)
- ・撮影フォルダ (CAPTURE)
キャプチャーした画像を保存します。(microSDカード全体容量の2%を使用)

